

**和食・麺処**  
**SAGAMI**  
 Il numero 1 dei ristoranti di  
 NOODLES GIAPPONESE

ご来店お待ちしております!  
 Vi aspettiamo a  
**Milano**  
**Modena**  
**Parma**  
**Reggio Emilia**  
**B. Lombardo**  
**Verona**  
**Bologna** **MORE** **MORE!!**

[www.sagami.it](http://www.sagami.it)



Dal 2003 simbolo della  
**VERA CUCINA GIAPPONESE**

**vera cucina giapponese**

ASSOCIAZIONE ITALIANA  
**RISTORATORI GIAPPONESI**  
**AIRG**

SHIRO POPONOA 赤松園 大阪 Osaka Japanese restaurant since 1999 HIGUMA

zero KOKORO 味の心 FINGER'S

[www.ristoratorigiapponesi.it](http://www.ristoratorigiapponesi.it) - [info@ristoratorigiapponesi.it](mailto:info@ristoratorigiapponesi.it)

**GAGHE**  
 Korean & Japanese food shop

**가게**  
 Korean & Japanese food shop

**korean & japanese food shop**

Via Piacenza, 24 - 20135 Milano  
 Tel. 02 84076284  
 M3 Porta Romana

**CIANO!**  
**JOURNAL**

隔月刊日本語新聞  
 2025年5-6月号  
**No. 55**

隔月刊日本語新聞 - PUBBLICAZIONE PERIODICA GRATUITA distribuita in Italia ANNO 9 - NUMERO 3 - MAGGIO/GIUGNO 2025 | Edito da: Geienneffe Editore S.a.s. Testata giornalistica iscritta al Tribunale di Milano n° 53 del 23/01/2017

**5月に Go!**  
**Pronti... maggio... via!**

Curiosare il Giappone  
 Articoli in italiano da pag. 6

**わくわくするイタリア新聞**





www.ciaojournal.com  
 ciao@ciaojournal.com

Lingua

Corso di giapponese  
 • per adulti  
 • per bambini  
 日本人のためのイタリア語

Traduzioni e interpretariato  
 giapponese ↔ italiano  
 日本語 ↔ イタリア語

合格

**Ciao! Journal 広告掲載料金  
 Tariffe per pubblicità**

広告一回掲載料金  
**Tariffe Pubblicità per una singola uscita modulo (mm59×59)**  
 €150+IVA (mm59×59)  
 €90+IVA (mm59×26.5)

**1ページ Prima pagina**

タイトル上 sopra la testata €380+IVA

**2,3,16 ページ Pagina 2,3,16 €200+IVA**

上記の料金に広告原稿作成代は含まれません。  
 Non è compresa la tariffa di elaborazione del banner.

**チャオジャーナル無料配布先募集**

- イタリアの各地域への1回の送料: 30ユーロ
- クーリエサービスにて送付: ご希望部数100部まで
- 本誌p.2の無料配布先に御社名記載

詳細のお問い合わせ  
 Per maggiori informazioni scrivere a  
 ciao@ciaojournal.com

**CIAO! Journal 無料配布先 (一部)  
 Dove trovare CIAO! Journal**

**Milano** Consolato Generale del Giappone a Milano, JETRO, 日本人学校, Brera歯科, Sagami, Poporoya, Shiro, Ristorante Osaka, G81 Bento & mood, Yazawa, Gastronomia Yamamoto, Tenoha, Tenoha Ramen, Emoraya, Tanabata, Alimentari Gaghe, Hair Salon Otto, Hazama, Università degli Studi di Milano, Info Point Milano, JFC Italia, IperCoop Piazza Lodi店内 WARAI SUSHI, Sagami Milano Corte Lombarda店, Kappou Ninomiya, Tempurataca

**Roma** Ambasciata del Giappone, Istituto Giapponese di Cultura, 日本人学校, Zensushi, Ristorante Mikachan, Ristorante Sushisen

**Torino** Takoyaki Minamoto, IperCoop Parco Dora店内 WARAI SUSHI

**Pinerolo** IperCoop Pinerolo店内 WARAI SUSHI

**Genova** Coop Corso Europa店内 WARAI SUSHI

**Bologna** Sagami

**Verona** Sagami

**Modena** Sagami

**Parma** Sagami

**Reggio Emilia** Sagami, Ramen Hideo

**Arezzo** Coop.Fi Centro Arezzo店内 WARAI SUSHI

**Figline Valdarno** Unicoop Firenze店内 WARAI SUSHI

**Bari** IperCoop Bari Japigia店内 WARAI SUSHI

**Lecce** IperCoop Lecce店内 WARAI SUSHI

**Tokyo** Istituto Italiano di Cultura Tokyo, サルトリア・イブシロン, クラデスティーノ41

**Kobe** 神戸日伊協会

政界アラカルト

**他人事じゃないゾ！ 欧州再軍備  
 ～米国の逸脱で軍事強化へと進みはじめたEU～**

**米国、対外援助の縮小**

トランプ大統領再選で自国第一主義 (MAGA) に方向転換した米国は、去る3月ウクライナへの軍事および物資などの援助を一切停止した。米国の支援がウクライナ戦争の終結に繋がるかどうかを今一度見直すのが、その目的だという。2月28日、ワシントンに赴いたゼレンスキー大統領とトランプ大統領の“あの会談”が破談に終わってから、1週間後のことだった。アメリカは、ロシアが3年前にウクライナへの侵攻を開始して以来、ウクライナに対する最大の軍事援助国となっていた。提供してきた武器や装備、物資や支援金などの総額は1800億ドル (約26兆8800億円) に上っている。

そして米国は、欧州における北大西洋条約機構 (NATO) の合同軍事演習への参加を停止する旨をも通達してきた。今後、米国不在あるいは部分的な関与のみになるとなれば、NATO同盟国は軍事演習の仕方を全面的に見直さなければならない。米国は更に、欧州における軍事費を削減して別の地域での軍備に充当すること、具体的にはドイツに駐屯している米兵約3万5000人を東欧 (特にロシア寄りのハンガリー) に移動させることを検討中だと言う。

イタリアも例外ではない。イーロン・マスクのDOGE (政府効率化省) は3月初め、イタリアにある米軍基地6カ所 (Aviano, Vicenza, Sigonella, Napoli, Camp Darby, Ghedi) の一般職員4300人に「業務の成果を毎週5つ報告せよ」と命じた (リストラすべき人員を選別しようとの魂胆か?)。そして、退職者によって空いたポストは補てんされず、諸経費の支払いに使用していた公用クレジットカードも既にブロックされたと言う。

**ReArm Europe Plan**

このような米国の支援縮小で安全保障上の懸念が高まってきた。フォン・デア・ライエンEU委員長は「第2次大戦後初めての差し迫った危機」として、欧州再軍備の緊急性を強調。そしてEUは安保面における外部同盟国への依存を軽減するための計画「ReArm Europe」を打ち出した。そこには5つの事項が盛り込まれている。

- ①財政の柔軟性：現行のEU財政規定を一時的に中断して、加盟国が自国の防衛費を増やせるようにする。EUは4年間で6500億ユーロ放出。
- ②防衛貸与金：防空、ミサイル防衛システムなどの共同防衛プロジェクトに対してEUは1500億ユーロを貸与のための予算とする。
- ③予算再編：既存のEU資金を防衛に充てる。
- ④欧州投資銀行 (EIB) の役割：防衛に関わる企業を支援するため、融資の制限を解除する。
- ⑤防衛のために民間資本を利用できるシステムを策定し、防衛部門への投資を活性化する。

以上は「欧州の防衛面での自立」「NATOの軍備強化」「ウクライナの軍事的支援」を目的としており、ドローンや大砲など技術の共同開発と投資に焦点を当てている。

**NATOにおける米国**

ここで、米国がNATOに於いてどのような立場にあり、同国の脱退が欧州に如何なる影響を与えるかを見てみたい。コリエーレ紙によると、米国は欧州 (EU23カ国を含むNATO加盟30カ国) の防衛に年間350億～1350億ドルの予算を組んでおり、これは同国の防衛予算総額の4～15%に相当する。ウクライナ侵攻3年目を迎えた現在は最大の1350億ドルに達しており、しかもウクライナへは別途700億ドルの軍事援助を行っている。

NATO発足当初から米国は基幹的存在であり、冷戦時には米兵40万人が配置されていた。現在は10万人だが、トランプ政権はうち



ホームページをリニューアルしました。見に来てね！  
Il nuovo sito è online! [www.ciaojournal.com](http://www.ciaojournal.com)

3万5000人を他のセクションに移す計画だ。結果、欧州各国は米軍が抜けた後の人員を自分たちで埋めることになり、その数はポーランド1万4000人、イタリア1万3000人、英国1万人、スペイン4000人となる見込みだと言う。しかも、空きをただ埋めるだけで済むものではなく、問題はその質であることは明白だ。米軍は高度な訓練を受けた精鋭集団である上、最先端の技術を駆使して諜報活動ができるなど、即戦力がある。ブリュッセルのブリュッセル研究所は、「米国が数日で欧州国境に配置できる兵力は、欧州29カ国が総動員で配置できる兵力に勝る」と報告している。

以上のことから、在欧米軍の空きを欧州が補てんするのは現状では不可能なようだ。今できることは、「米軍が、規模は縮小してもNATOから完全には撤退しない」との仮定あるいは希望の下、加盟国が共同防衛を強化することなのである。

#### EUと核兵器

マクロン仏大統領はReArm Europe会議を控えて、「フランスの保有する核兵器を、欧州全域をカバーする抑止力として使用する」旨を提案した。フランスはEU加盟国中、陸海空のどこからでも核ミサイルを発射できる唯一の国だ。イギリスも核弾頭は保有しているが、米国所有の潜水艦からのみ発射可能のものだという。果たしてフランスやイギリスの核が、アメリカの「核の傘」の代わりになり得るか。現在、独、伊、ベルギー、オランダ、トルコに配備している核ミサイルを米国が引き払い、ロシアが核攻撃を試みるといった事態になった場合、EU27カ国は如何なる協力態勢を取り、如何なる方法で対処するというのか？

#### 有志連合

3月27日、マクロン仏大統領はパリで有志連合 (Coalition des volontaires) なるサミットを招集し、NATO同盟国、EU加盟国、カナダやノルウェー、そして日本を含む31カ国が参加した。米国がウクライナ支援に後ろ向きになった今、今後の同国支援方法と、欧州自体の防衛の在り方について話し合うのがその目的だ。仏大統領は「停戦協定はウクライナを主体とした永続的な協定であるべき」「ロシアによるウクライナ占領が続く限り、ロシアへの制裁は継続する」「ウクライナに対しミサイル、装甲車両、無人機、衛星や諜報技術をはじめとし、20億ユーロの軍事援助を実施する」旨を発表した。

更に、将来的にロシアの攻勢を抑止していくため、ウクライナ領土の戦略都市に欧州の平和維持軍を配置する可能性も示した。「最前線に立つつもりも戦うつもりもないが、我々はウクライナの永続的な平和を保障しなければならない」。今のところ、有志連合の先頭に立つ英仏2国のみがウクライナに兵士を送る旨を公式に約束しており、単なる駐留ではなく、地上部隊、空中監視、海上パトロールを視野に入れた明確な防衛を検討している。一方イタリアやポーランドなどは、EU加盟国の軍事介入に懐疑的だ。

#### イタリアの立場

3月12日の欧州議会で「ReArm Europe」及び「ウクライナ防衛計画案」が採決された際、イタリアは「欧州再軍備計画」と「プーチン大統領を唯一の侵略者とする」発議にはやむを得ず賛成票を投じたものの、「何事であってもウクライナを無条件で支援する」との発議にはトランプ大統領の顔色を窺って「棄権」を選んだ。

(p.4につづく)



## Indice 目次

- p.2 他人事じゃないゾ！ 欧州再軍備  
- 米国の逸脱で軍事強化へと進みはじめたEU
- p.4 かけあしイタリアのニュース
- p.6 ようこそナポリへ！
- p.6 Benvenuti a Napoli!
- p.10 美しい日本の和風月名
- p.10 La bellezza dei nomi tradizionali dei mesi giapponesi
- p.11 樹冠の遠慮
- p.11 La timidezza della corona
- p.12 ジュビレオって、なんでしょう？
- p.13 日本人にとってのExpo 2025
- p.14 Osaka Expo 2025 vista dai residenti in Giappone
- p.15 Ciao!Journal in piazza  
- 読者からの手紙/lettera dai lettori  
- 掲示板/annunci



Ciao! Journal Pubblicazione Periodica

#### Registrazione

Tribunale di Milano n°53 del 23/01/2017

**Direttore Editoriale** Junko Kataoka

**Direttore Responsabile** Eugenio Bersani

**Editing e pubblicità** Geienneffe Editore S.a.s.

**C.F. e Partita IVA:** 09698530962

**C.C.I.A.A. di Milano REA n°:** MI-21108642

**Mail:** [ciao@ciaojournal.com](mailto:ciao@ciaojournal.com)

**Web:** [www.ciaojournal.com](http://www.ciaojournal.com)

**Redazione:** Junko Kataoka, Natsu Funabashi, Isato Prugger

**Progetto grafico:** Gabriel Suzuki Studio

**Revisione in italiano:** Fulvio Cattaneo

**Traduzione in italiano:** Emanuela L.

Arancio

**Hanno collaborato a questo numero:**

Masaki Ikeda, Natsumi Kan, Kazuhiko Hori, Takako Magrini, Masao Yamanashi, Federico Bianchi

**Foto in copertina:** Natsu Funabashi

**Tipografia:** Gruppo Stampa GB s.r.l.

Viale Edison, 627 - 20099 Sesto san Giovanni (MI)

Finito di stampare nel mese di maggio 2025

Riproduzione riservata ©Geienneffe Editore S.a.s.

RISTORANTE GIAPPONESE 創業1977年 老舗日本料理店

# SHIR



## POPOROYA

こだわりの食材  
本物の技術  
くつろぎの空間  
お客様からの信頼

open: 12:30 - 14:30 / 19:30 - 22:30  
(last order)  
休業日: 水曜日の昼と日曜日  
Closed: Wednesday lunch & Sunday

via Eustachi, 20 Milano ☎ 02 83972091

かけあし  
イタリアのニュース

2025年2月

●16日、第75回サンレモでラッパーのオリー優勝。シナーがドーピング疑惑で3か月試合停止に合意。ミュンヘン安保会議で米露2か国で和平協定を結ぼうとしているため、ゼレンスキー大統領が欧州軍の必要性強調。ミラノのパン屋で発砲、ウクライナ人死亡。  
●17日、マクロン大統領の発案でEU9か国と英国、NATO代表がトランプ対策会議。ナワリヌイ氏死去1周年。ナポリで乳児が自宅のピットブルに襲われ死亡。  
●18日、伊の港湾、銀行、新聞サイトが露ハッカーの標的に。教皇の入院長期化。  
●19日、トランプ氏がゼレンスキー氏を独裁者と呼んだことにコンテ五つ星運動党党首が「同感」。Google社が伊国税局に所得税3億2600万ユーロ払う。  
●21日、ハマ

スが幼い兄弟2名を含むイスラエルの人質4名の死体返還。コロナ発生から5年。  
●22日、米国共和党の保守政治行動会議CAPACにメローニ首相がオンライン参加。  
●23日、独総選挙でキリスト教民主同盟(CDU)勝利。極右(AFD)は第2政党に躍進。エトナ噴火で火口見物に観光客殺到。  
●25日、コリエレ紙「ベルリンを除く旧東独全土が極右AFDに投票」。  
●26日、2018年ミラノ近郊の列車脱線事故(死者3名、負傷100名)の第1審で、線路係員1名以外の国鉄責任者全員無罪。  
●27日、トランプ氏「EUは我国を騙す目的で成立した」。ポンペイ遺跡で新たに大規模な邸宅「ティアソスの家」発見。英仏軍ウクライナ派遣に伊が反対。トランプ氏がAIで作成した「パレスチナ人追放後のガザ」ビデオ公表。  
●28日、裁判官の職務選択法案に対し全国スト。理由は「憲法第4条の精神に反するから」。

3月

●1日、停戦協定の為に訪米したゼレンスキー大統領をトランプ大統領とヴァンス副大統領が世界中継で侮辱。コリエレ紙「14歳以前に携帯を持つ子供は成績伸びず」。  
●2日、トランプとゼレンスキー会談破談に、英とEUがウクライナ擁護。

サルヴィーニはトランプ支持。  
●3日、マッタレラ大統領訪日。EU有志連合結成の件でマクロン大統領が伊に支持呼びかけ。イスラエルがガザへの物資支援停止。  
●4日、トランプ大統領がウクライナ支援停止。メローニ首相「我が国は有志連合より米国との関係強化」。  
●5日、ISTAT「1月の就業率過去最高の62.8%」。デア・ライエンEU委員長が欧州再軍備に8兆ユーロ投入発表。欧州再軍備4年計画に加盟27か国が賛成。  
●7日、欧州中央銀行が金利0.25%引下げ。  
●8日、2017年8月に難民救助船Diciotti号上陸をサルヴィーニ内相が5日間拒否した件で破棄院が政府に賠償命令。デンマークは今年で手紙の郵送サービス終了。  
●9日、米国が援助停止したウクライナの前線クルスクでロシア優位。マッタレラ大統領が広島訪問。ミラノ郊外の中学で教師に注意された14歳男子、町なかで教師に暴行。  
●10日、マスク氏「スターリンクが停止すればウクライナは陥ちる」。欧州再武装計画にプローディ前首相賛成、シュラインPD党首反対。  
●11日、シリアで政権獲得した反アサド派が、支持派のアラウィー派に逆襲。EU規模での難民強制送還基準が制定されることに。  
●12日、米がウクライナ戦争に1か月の停戦提案。ポルトガル、5年間で4つ

最高級品種の日本種米  
安心安全の減農薬栽培米  
さめてもおいしいお米

ポポロ屋はイタリアにおける販売代理店です。  
Poporoya è distributore esclusivo per l'Italia

Via Eustachi 17 Milano  
☎ 02-29406797  
info@poporoyasrl.it

Lunedì 17:30-21:30  
Da martedì a sabato 9:30-14:00 | 17:30-21:30

GLOVOのサイトでもご注文頂けます。  
POPOROYA MARKETでご検索下さい。  
"POPOROYA MARKET" è disponibile anche su GLOVO.

最高級品種日本種米です。  
安心安全の減農薬栽培米で  
冷めてもおいしいお米です。

RISO GIAPPONESE QUALITÀ SUPERIOR DA  
CHICCO GIAPPONESE. COLTIVAZIONE BIO.  
BUONO ANCHE QUANDO SI RAFFREDDA.

新米  
みのり  
減農薬栽培米  
日本種米  
Catalunya  
Delta de l'Ebre

www.oapsa.com OKURA Y ASOCIADOS PRODUCTS, S.A.



4月17日、ホワイトハウスに赴いてトランプ大統領に面会したメローニ首相は、「米国からのガス輸入量、伊企業の対米投資、伊の国防費を更に増やす」という相手側の要求を全て呑み、大統領から「あんたはすごい」と褒められたものの、肝心の関税については具体的な回答を得ることはできなかったようだ。二者対談といってもEUの一員である限りイタリアだけの待遇を交渉することもできず、かと言ってメローニはEU代表者ではないためEUレベルの交渉もできない立場にあった。

兵役再導入に向かうEU

最後に、非常に辛いことだが個人に直接関係してくる「兵役」について見てみよう。

EUの職業軍人の数の推移を見ると(1990年と今日を比較)、仏54万人から20万人に、独52万人から19万人、伊49万人から19万

5000人と激減している。欧州の再軍備計画が具体化する中、いくつかの国では軍人不足に対処するために「兵役の義務」の再導入を考えているのだ。ちなみに今現在、兵役が義務化されているのはスイスとオーストリア、リトアニア、レトニア、フィンランドのみ。ポーランドのトゥスク首相は「年末までに、ポーランドのすべての成人男性が戦争に備えて訓練を受けられるようにする計画を立てる」と述べ、ラトビアのリンケービッチ大統領も「ヨーロッパ諸国は兵役義務を確固として再導入しなければならない」と主張した。ドイツでも兵役復帰が議論されている他、最近の世論調査でフランス人の61%が徴兵義務の復活に賛成している。英国もその可能性を完全に除外していない。

イタリアは、2004年8月23日の法律第226号に基づき、2005年1月1日から一般市民の兵役義務が「一時的に停止」した形で今に至っているが、完全に廃止された訳ではない。憲

目の内閣のモンテネグロ内閣倒閣。●14日、ナポリでマグニチュード4.4。地震観測所「1ヶ月で3センチ地盤上昇」。ジャーナリストのセッラ氏がイニシアチブのEU支持デモ、ローマで5万人参加。五つ星運動党不在。●15日、プーチンとトランプ接近。コリエレ紙「EU再軍備を支持する国民36%」。トスカ州豪雨でアルノ川決壊寸前。エコノミスト誌「全てのサービス（乗り物、パール、店など）に最もアクセスしやすい都市世界1位にミラノ（徒歩7分以内）」。●16日、ナポリで余震続く。●17日、北マケドニアのディスコで火災、死者59人。コリエレ紙「2月欧州におけるテスラの売上50%減」。国際宇宙ステーションに9カ月間足止めの飛行士2名、地球に帰還。●18日、入院中のフランシスコ教皇がコリエレ紙に「地球から武器を無くそう」とメッセージ。●19日、プーチン、トランプ両大統領が電話会談でウクライナのエネルギー基地への攻撃を30日間停止合意。イスラエルが停戦協定破棄しガザでの攻撃再開、死者400人以上。モロッコで生みの親から乳児を購入したモロッコ人夫妻が販売目的でイタリアに。●20日、イスタンブール市長でエルドアン大統領の政敵イマモグル氏、テロ容疑で逮捕。●22日、独が緊縮政策解除し軍備増強に

方向転換。ヒースロー空港が火災で旅客20万足止め。●23日、教皇退院。●24日、ヴェローナ近郊で放置されていた豪邸でミイラ化した夫婦見つかる。●25日、ロシア元KGB長官「プーチンは全て獲得した後でしか停戦に応じない」。米政府がイエメンへの攻撃計画をチャットで誤って新聞記者に暴露。●28日、サルコジ前仏大統領が2007年大統領選でカダフィ大佐から不法に支援金を受け取った罪で懲役7年求刑。紅海で観光潜水艦沈没、死者6名負傷者14名。●29日、マニラでM7.7の地震。●30日、イスタンブール市長の解放求め200万人がデモ。

#### 4月

●1日、極右ル・ペン党首がEU資金の不正使用で懲役4年、次期大統領選挙立候補不可に。ローマ近郊のテスラ販売所で17台放火される。●2日、米国保健局が1万人に解雇通告。ヨルダンのキリスト洗礼地に大型観光施設建設計画。●3日、トランプ氏、世界60か国に10%以上の「相互関税」発表式典開催。「今日は米国が自由になる日」。各国で株式市場暴落。●4日、世界125か国が批准するハーグの国際刑事裁判所からハンガリー脱退、逮捕状が出ているネタニヤフ首相を自国に受け入れ。●5日、バーリでバイクの女性が神

父の車と衝突し死亡、神父逃亡。●8日、ミラノ国際家具見本市。コリエレ紙「米の国際支援機関の活動停止で犠牲となる子供1千万」。●9日、米大統領が対中国関税を104%に。マッタレラ大統領、メローニ首相などの電話番号がネット上に公開されていた。英国王夫妻訪伊。●10日、米大統領が50か国の関税適用を90日延期。●11日、それを受けてEUが対米適用関税率凍結。米国、対中関税を145%に。●12日、中国が対米関税125%。セリエA選手12人が不法賭博に関与。米国特使ウィトコフ氏がプーチン大統領と会談。プラダがヴェルサーチ買収。大阪・関西万博開幕式にタイアーニ副首相が出席。●13日、米大統領が中国からの輸入品含むスマホとPCを関税適用外に。ミラノで5万人がイスラエルのパレスチナ攻撃反対デモ。●14日、ウクライナのスーミでロシア軍がミサ中の教会爆撃、35人死亡、負傷者100人以上。イスラエルがガザで唯一機能していた病院爆撃。●15日、トランプ氏「ウクライナ侵攻はゼレンスキー大統領のせい」。独が長距離ミサイルをウクライナに供給する可能性示唆。

Natsumi Kan

法の上でも「祖国の防衛は市民の神聖な義務」となっている。2024年5月、兵役義務の熱心な推進者であるサルヴィーニ・インフラ大臣が「18歳から26歳の男女の6カ月の兵役再導入案」を提出したが、現時点では具体化されていないようだ。

今、米露の関係は大きく変化しつつある。「小国」たちが2大国どちらかの傘下に収まって安穩としている場合ではなくなった。これを自覚した国々は、それぞれが自国を自分で守る方向に踏み出そうとしている。一方、未だ米国一辺倒に見えるイタリアや日本は、如何なる将来を念頭に置くのか。

遂に、そして図らずも、国民一人一人が自分の国の将来を真剣に見つめる時期が到来してしまった。これまで考えもしなかった、自分の夫や息子が戦場に立つ可能性が、僅かにではあれ地平線の向こうに姿を表したのだから。

Masao Yamanashi

# イタリアで日本のテレビ

まず、アプリをダウンロードして簡単登録で1週間無料体験!

BS 50ch

スマホのみ USD 199.9/年-
 

TV+スマホ USD 239.9/年-

- 地上・BS・CS50局ライブTV
- TVドングルもスマホも同時視聴
- 過去4週間番組の見逃し視聴
- スマホからテレビ画面に転送可
- 週間ランキングVOD500本
- 日本のサブスク動画が視聴可



サポートメール [日本人受付]  
admin@kaitekitv.com

サポートページ  
https://kaitekitv-support.com



年間契約 TVDongle 無料

外出 + 自宅

ポポロ屋

皆に愛される和食店  
お食事ついでに  
TVDongle確認を

**ADD** Via Bartolomeo Eustachi 17,  
20129 Milano  
**TEL** 02 29406797  
**営業時間** 9:30~14:00/17:30~21:30  
10:30~15:00 (日曜) 火曜定休



In giro per l'Italia

## Benvenuti a Napoli!

*“Vedi Napoli e poi muori!”*, così disse Goethe. Chissà se la città che vide il poeta è la stessa che ho visto io, così piena di sorprese. Sono passati già due anni da quando ho visitato Napoli, ma ne sono rimasta particolarmente colpita, tanto da aver ancora ricordi belli nitidi; quindi eccomi a raccontarvi.

Ogni anno, a inizio maggio, a Napoli si svolge il “Comicon” (“Comicon-Salone Internazionale della Cultura Pop”), una grande fiera che celebra il mondo di manga e anime. Nel 2023 è stata invitata a farne parte l'autrice Aki Irie come ospite di J-Pop Manga, il grandissimo editore di manga giapponesi in Italia, fondato nel 2006. Ho avuto l'occasione di collaborare come interprete di Irie-sensei, godendo così anche delle attività turistiche che erano incluse nel programma.

### Pompei a luci rosse

Abbiamo partecipato al tour di Pompei, organizzato per gli ospiti da parte di Comicon. Era una bellissima giornata, con quel sole tipico dell'Italia meridionale: insomma era un giorno perfetto per fare del

turismo. La guida era un allegro signore che parlava inglese con cadenza napoletana; ci raccontò di avere una cattedra all'università. Ecco da dove venivano le sue capacità narrative.

Come ben saprete, Pompei è un'antica città romana rimasta sotto le ceneri dall'eruzione del Vesuvio nel 79 d.C. Il primo edificio che raggiungemmo fu quello dell'Anfiteatro romano di Pompei, dove la guida disse “qualcuno provi a cantare”. Ci spiegò che questo è uno dei posti dove l'acustica è migliore al mondo; quindi alzò la

voce dimostrandoci come il suono salisse verso il cielo.

Nella strada principale, la Via dell'Abbondanza, è possibile osservare tutt'oggi le tracce di carri sulla strada lastricata di pietre e le numerose botteghe; tra i vicoli si nascondono le Lupanare, ove si praticava prostituzione, decorate con mosaici erotici, ed è possibile scorgere graffiti risalenti a 2000 anni fa; lungo le strade ci si imbatte anche in grandi villeggiature dove non mancano statue con simbolismo fallico.

Presso la “Casa del Poeta Tragico” è presente il mosaico con la locuzione “Cave Canem”, equivalente del moderno “attenti al cane”; questo che si trova a Pompei pare sia il più antico esempio di “cartello” per la segnalazione della presenza di animali. Da ammirare è anche il meraviglioso sistema idraulico di questa città.

Una volta usciti dal sito archeologico, ad aspettarci c'erano gli immancabili negozi di souvenir, addobbati di calamite e portachiavi e cavatappi con allusioni erotiche (peccato che non posso mostrarvi le foto). Gli antichi abitanti di Pompei non si sarebbero mai immaginati che la loro città sarebbe stata associata a immagini di natura sessuale dopo 2000 anni.

ぶらりイタリア散歩道

## ようこそナポリへ!

詩人ゲーテは「ナポリを見てから死ぬ!」と言った。果たして、ゲーテが知るナポリと、私の知る奇想天外なナポリとは一致するのか? 2年前、私はナポリに行った。今でも鮮明に蘇る面白いエピソードがたくさんあるので、ここに書くことにする。

ナポリでは毎年5月初めに「コミコン」(Comicon-Salone Internazionale della Cultura Pop)という、漫画・アニメのための大規模なフェスが開催される。2023年の「コミコン」には漫画家の入江亜季氏が特別ゲストとして日本から参加した。同氏を招いたのはイタリアの大手漫画出版社「J-Pop Manga」である。ちなみに同社は日本の漫画コミックスに特化した出版社として2006年に創業した。

私は入江氏の通訳としてチームに同行したが、そのスケジュールには嬉しいことに「観光」がぎっしり組み込まれていたのだ。

### アダルト向けポンペイの遺跡にて

「コミコン」がゲストの為に企画してくれたポンペイツアーに、私たちのチームも参加した。南イタリアの眩しい太陽が輝き、素晴らしい観光日和だった。ガイドはナポリ弁混じりの英語を話す陽気なおじさんと、本職が大学の教授というだけあって流石、話がとても面白かった。

ポンペイは、西暦79年にヴェスヴィオ火山の噴火によって埋没したローマ時代の都市だ。まず直ぐに案内されたのが円形劇場(Anfiteatro romano di Pompei)。ガイドのおじさんはいきなり「ほら、誰か歌ってみなよ」などと言う。なんでも、ここは“音響世界一”の古代劇場なんだとか。確かに、彼が声を張り上げてみせると、その声は天まで伸びていくようだった。

ポンペイのメインストリートであるアッポンドンツァ通りを進んでいくと、石畳の道には馬車の轍(わだち)の跡が深く残り、道沿いには商店の跡、そしてルパナーレ(娼婦の家)。「Casa del Poeta Tragico」(悲劇詩人の家)の玄関にある「CAVE CANEM」(猛犬注意)の注意書きは興味深い。番犬がいることを知らせるためのもので、こういった所謂「注意書き」の類は、ポンペイのものが世界



ポンペイ遺跡/Il Parco Archeologico di Pompei



悲劇詩人の家の玄関にあるモザイク/Il mosaico all'entrata della Casa del Poeta Tragico

初出らしい。町全体に敷かれていた古代ローマの驚くべき水道システムも必見である。

ポンペイ遺跡では、そこかしこに“アダルト向け”の壁画や彫刻や落書きが見られる。そして遺跡の外にずらりと並ぶ土産物屋を覗くと、“アダルト向け”模様のマグネットやキーホルダーや栓抜きなどのオンパレードに仰天！（写真をお見せするわけにいかず残念です）。2000年後にこんな具合に取り沙汰されるのは、当時のポンペイの人たちは思いもなかっただろう。

### プレビシット広場横断

我々のチームにナポリ出身者がいた。彼女は「ナポリ人は迷信好きなのよ」と

言いながらナポリの町を案内してくれた。まず、ナポリを代表する広場であるPiazza del Plebiscito。2万5000平米もある広大なものだ。サン・フランチェスコ・ディ・パオラ聖堂と、広場をはさんでその向かいにはナポリ王宮がある。真ん中で広場を制しているのは、ブルボン家カルロス3世（1716～88）と両シチリア王フェルディナンド1世（1751～1825）の二体の騎馬像。

言い伝えによると、サヴォイア家のマルゲリータ王妃（1851～1926）は月に一度、囚人たちに目隠しをして広場を横断させたという。「2つの像の間を通れたら自由を与えますよ」と。だが王妃のかけた呪いにより、誰一人として成功した者はいなかった。その呪いは今も消えておらず、目隠しで2体の像の間を通るのは不可能だそうだ。ナポリ人は誰もがそれに挑戦しているが、成功した例は無いという。

### 卵城

ヴェスヴィオ山を眺めながらメルジェリーナ地区を海岸沿いに歩くと、有名な卵城（Castel dell'Ovo。紀元前1世紀）に着く。ナポリで最も古い城のこの不思議な名は、詩人ヴェルギリウス（あるいは魔術師としても知られていた。前70～前19）にまつわる言い伝えに由来する。ヴェルギリウスは魔法の卵を城の基礎部分に入れ、「この卵が割れるときに城もナポリも滅びる」という呪いをかけたのだそうだ。

1370年、ナポリの海底にて大地震が起こり、卵城の一部が崩壊した際、ナポリ女王のジョヴァンナ1世（1327～82）は「誰かが魔法の卵を新しいものに取り換えるのを見た」と言い、国民を安心させたそうだ。

### ウンベルト1世のアーケード

トレード通りに「ガレリア・ウンベルト1世」（1890年完成）がある。これは、ミラノのショッピングアーケード「ガレリア・ヴィットリオ・エマヌエーレ2世」（1867年完成）を模して作られたものだ。ちなみに、イタリアが統一されて1861年にイタリア王国が成立した時の国王がヴィットリオ・エマヌエーレ2世、第2代国王がその息子のウンベルト1世である。➡

### Attraversare Piazza del Plebiscito

Nel nostro team era presente una persona originaria di Napoli, che ci ha guidato per la città, spiegandoci che “i napoletani sono grandi amanti di leggende”. Siamo stati portati innanzitutto alla Piazza del Plebiscito. La piazza ha una superficie di circa 25.000 m<sup>2</sup> ed è circondata dal Palazzo Reale di Napoli e dalla Basilica di San Francesco di Paola, di fronte alla quale sono ubicate due statue equestri, quella di Carlo III di Borbone (1716/88) e quella di Ferdinando I (1751/1825), Re delle Due Sicilie. Secondo la leggenda, regina Margherita di Savoia (1851/1926) dava la possibilità ai prigionieri di ottenere la libertà una volta ogni mese, sfidandoli ad attraversare la piazza bendati passando tra le due statue. Tuttavia, a causa della maledizione lanciata dalla regina stessa, nessuno riusciva a passare tra le sculture. Tutt'oggi questa maledizione sembra essere in vigore ed è ancora impossibile riuscire nell'impresa. Tutti gli originari di Napoli ci provano ma nessuno ci è mai riuscito.



プレビシット広場／La Piazza del Plebiscito



卵城／Castel dell'Ovo

### Castel dell'Ovo

Passeggiando sul lungomare a Mergellina, ci si imbatte nel Castel dell'Ovo (I a.C.). Il misterioso nome del castello più antico a Napoli è attribuito al poeta Virgilio (70 a.C./90 a.C.), conosciuto anche come mago. Si narra che nascose l'uovo magico nelle fondamenta del castello eseguendo un incantesimo: “se un giorno l'uovo dovesse rompersi il castello e anche Napoli saranno destinate a gravi sciagure e rovina”.

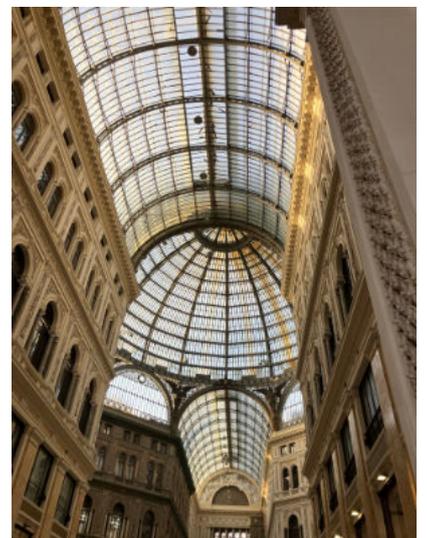
Nel 1370 si verificò un grande maremoto a Napoli e parte del castello crollò: la regina Giovanna I (1327/82) tranquillizzò il popolo affermando di aver visto qualcuno sostituire l'uovo con uno nuovo.

### Galleria Umberto I

In via Toledo si trova la Galleria Umberto I (completata nel 1890). Si tratta di una costruzione che si ispira alla galleria Vittorio Emanuele II di Milano, re che regnava in Italia nel 1861, l'anno dell'unificazione italiana; il suo successore è il figlio



ウンベルト1世のアーケード／Galleria Umberto I



かつては治安が悪く、不衛生なエリアとして知られていた旧サンタ・ブリジダ地区（1884年にはコレラが発生した）を改良する目的で作られた。アーケードの中心の床には12星座を表すモザイクがある。自らの星座の上を通ると縁起がいいのだとか。ここには他にも様々なアレゴリーが潜んでいるらしいので探ってみてほしい。ところで、ここに設置されるクリスマスツリーは毎年必ず盗まれるという“伝統”がある。

### サン・ジェンナー口の血

ナポリの守護聖人サン・ジェンナー口はナポリにとって重要人物であるが、実はイタリア全国からも年に3回注目を浴びる。サン・ジェンナー口は305年9月19日に殉教した聖人だが、その血が1700年もの間、聖遺物として小瓶に保存されている。そして、その固まった血が年に3回（5月の第一日曜の前日、9月19日、12月16日）、液体に戻るのだ。但しこの奇跡がいつも起こるとは限らない。液体化しなかった場合は不吉であるとされ、ナポリ人にとっては大惨事なのである。

2020年12月16日、コロナ禍真っ只中のナポリでは、サン・ジェンナー口の血の奇跡が起こるよう人々は必死になって祈っていた。しかし願いは叶わなかった。従ってコロナはその後まだまだ続くことになった。ちなみに、冒頭で触れた入江先生のサイン会に訪れたファンの名前に注目してみると、最も多かったのは「ジェンナー口」「ジェンナリーナ」であった。

### 聖人マラドーナ

その時期ちょうど、「ナポリ」がセリエAのスクデットを33年ぶりに獲得しようとしていた。マラドーナ在籍時代以来の優勝を目前に控えていたのである。そのためナポリの町はなんと落ち着かない様子であった。町じゅうがクラブカラーの水色と白のリボンで飾られ、ナポリの選手や監督の等身大パネルがあちこちに立っている。そして、スパッカ・ナポリ地区の狭い路地はマラドーナの顔がプリントされた三角旗で埋め尽くされていた。普通なら聖母マリアの絵が飾られているであろう街角の祠（ほこら）にも、マラドーナの写真が置かれ、拝めるようになっている。ナポリではもはや聖人扱いのマラドーナは、サン・ジェンナー口より崇拜されているのかも。

試合の夜は「危ないからホテルを出るな」と言われていたのだが、結局その日は引き分けに終わり、ナポリの優勝はお預けになった。“命拾い”した我々がミラノに戻った後、遂にナポリが優勝。その夜はミラノでもナポリ人の盛り上がりを見ることができた。ミラノにナポリ人がどんなに多いかがはっきり分かった夜であった。



Umberto I, per l'appunto. La galleria di Napoli fu costruita allo scopo di riqualificare il malsano e malfamato antico rione di Santa Brigida (dove nel 1884 si erano verificati casi di colera). Sul pavimento della galleria ci sono dei mosaici raffiguranti i 12 segni zodiacali: si pensa che passando sopra al proprio segno si possa avere fortuna. Qui si possono trovare altri interessanti simboli allegorici. A proposito, gli alberi di Natale che vengono installati all'interno della galleria vengono puntualmente rubati ogni anno.

### Il sangue di San Gennaro

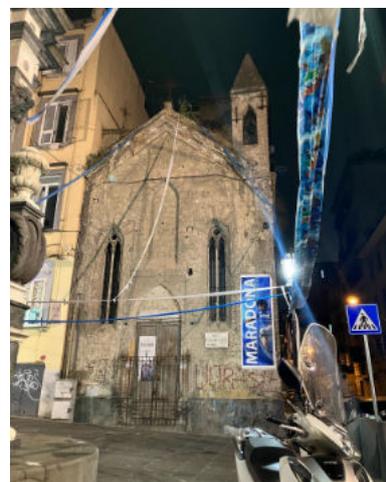
Il santo patrono di Napoli, San Gennaro, non è conosciuto solo a Napoli, ma in tutta Italia. Questo santo torna al centro dell'attenzione tre volte all'anno, quando avviene la liquefazione del suo sangue. Il martirio del santo avvenne il 19 settembre 305, ed il suo sangue è raccolto nella sacra ampolla da 1700 anni. Questo sangue tre volte all'anno si trasforma in sostanza liquida (il sabato che precede la prima domenica di maggio, il 19 settembre e il 16 dicembre). Non sempre si verifica questo miracolo; quando non accade è considerato presagio di eventi nefasti e per il popolo napoletano è segno di disgrazia. Il 16 dicembre 2020, durante il periodo del Covid, il popolo napoletano rivolse disperatamente le preghiere al santo ma non si verificò il miracolo e la pandemia continuò. Invece, durante l'ultimo rituale che è stato tenuto il 3 maggio 2025, si è verificato l'atteso miracolo di maggio.

A proposito, durante il firmacopie di Irie-sensei al Comicon, ho scoperto che molti dei lettori si chiamavano Gennaro e Gennarina.

### Maradona santo

Eravamo in trasferta proprio quando la squadra di calcio del Napoli stava per vincere lo scudetto dopo 33 anni, la prima vittoria dopo quella riportata nell'epoca di Maradona. Ecco perché la città era nervosa, con addobbi bianco e azzurro in ogni angolo della città. Nelle strette vie di Spaccanapoli erano appese le bandierine di Maradona a zigzag. Anche sugli altarin, ove teoricamente si troverebbe la Madonnina, era posizionata la foto del calciatore, in modo da poterlo venerare in ogni momento. Maradona è considerato un santo, forse più adorato di San Gennaro...

La sera in cui il Napoli avrebbe potuto vincere il campionato ci venne raccomandato di non uscire dall'albergo; tuttavia quella sera la squadra azzurra pareggiò, posticipando la propria vittoria. Il Napoli vinse una volta che eravamo riusciti a tornare a casa a Milano sani e salvi: tuttavia, in occasione della vittoria i tifosi del Napoli si fecero sentire tanto anche a nord, facendo capire quanto fosse numeroso il popolo partenopeo a Milano.



ナポリはマラドーナだらけだった。/Napoli, piena di immagini di Maradona.

### ナポリのタクシーに乗るなら

ナポリのタクシーに乗るには覚悟が必要だ。乗った際にはシートベルトをしっかり締め、扉にはロックがちゃんとかかっているか確認する必要がある。私たちが乗ったタクシーは、中心街に集まってきていたティフォージが引き起こした渋滞のため、脇道に行くことになった。すると運転手にスイッチが入ったらしく、一方通行の狭い道を暴走し始めたのである。前方に“ヘルメット無し”で逆走してくるバイクが見えるではないか。だが我々のタクシーはスピードを落とすことなく、ストレスでバイクとすれ違った。

その後、私たちのタクシーも一方通行の道を逆走していた様な気がする。タクシーに乗った全員が手に汗握り、それぞれが掴めるところにしがみつつき、車を降りた時には誰もが真っ青になっていた。だがドライバーのテクニクは称賛に値する…。

### Prendere il taxi a Napoli

Se si vuole prendere il taxi a Napoli bisogna essere pronti psicologicamente. Bisogna assicurarsi che le cinture di sicurezza siano ben allacciate e che le portiere siano ben chiuse. Quella volta che prendemmo il taxi, l'autista dovette deviare dalla via principale a causa dei numerosi tifosi che avevano rag-giunto il centro, creando traffico in città. Fu così che si accese l'animo da pilota nell'autista, il quale iniziò a per-correre al massimo della velocità gli stretti vicoli. Davanti a noi sfrecciavano motociclisti senza casco e contromano, senza però che neppure il taxi rallentasse; li schivava tutti, e ormai non si capiva più chi fosse contromano; noi passeggeri ci tenevamo aggrappati a qualsiasi cosa che ci avrebbe potuto salvare, con mani che scivolavano dal sudore; scesi dall'auto eravamo tutti pallidi dal terrore. Comunque sia, tanto di cappello alla tecnica di guida dell'autista.



これらは2023年の写真。そして、今年またもやナポリがスクデットを獲得する可能性が高い。なぜなら、去る5月3日（5月の第一日曜の前日）、サン・ジェンナーロの血が溶けたからだ！／Delle foto del 2023. Quest'anno ci sono delle buone probabilità che il Napoli vinca di nuovo lo scudetto! Sicuramente la liquefazione del sangue di San Gennaro del 3 maggio 2025 (il giorno prima della prima domenica di maggio) è di buon auspicio!

私の見たナポリはこんな具合だった。

映画『Benvenuti al Sud』（「ようこそ南へ」2010年）にこんなセリフがある。「ナポリに来ると2回泣く。来た時と帰る時だ」（来た時はショックのあまり、帰る時は名残惜しすぎて）。しかしタクシーの運転手は「ナポリに来ると3回泣く羽目になる」と言っていた。「来た時と、帰る時と、体重計に乗った時だ！」。

Questa è Napoli che ho visto. “Quando si conosce il Sud, si piange due volte. La prima, quando si arriva a Napoli. Poi, quando si va via da Napoli”: ecco le famose parole dal film “Benvenuti al sud” (2010). Il signore del taxi, invece, aveva un'altra teoria: “Quando si viene a Napoli, si piange tre volte: quando si arriva, quando si va via e quando ci si pesa!”.

Natsu Funabashi



日本って美しい!



## 美しい日本の和風月名

**宮**崎駿監督の『となりのトトロ』を観たことがある方は多いと思います。この物語は初夏の新緑の中で進んでいきます。主人公は元気いっぴいの2人の姉妹で、お姉さんがサツキちゃん、妹がメイちゃんです。

さてここで、イタリア育ちの日本人学生諸君、そして日本語学習中のイタリア人学生諸君に質問です。妹の名前は英語のMayですが、お姉さんの名前の由来はわかりますか？

実は、「五月」（ごがつ）と漢字で書いて、「さつき」と読むこともできます。また、「さつき」というのは5月の和風月名（わふうげつめい）でもあります。「和風月名」というのは日本式の各月の呼び方で、その時期の風習や季節感をよく表した言葉です。現在の日本語の月は、1月、2月というように数字に助数詞の「月」（がつ）をつけた呼び方をしていますが、それぞれの月には美しい日本風の別名があるのです。

**1月は「むつき」**：お正月があるので、「皆が一堂に集まって睦まじく（むつまじく=仲良く）過ごす月」という意味。

**2月は「きさらぎ」**：寒いので衣（きぬ=着る物）を更に着る」という意味。

**3月は「やよい」**：漢字は「弥生」で、「弥」は「程度がますます進む」という意味。つまり、草木が先を争って芽を吹く、生き生きとした月なのです。

**4月は「うづき」**：漢字は「卯月」。「卯」は「茂る」という意味。草木が茂る月。

**5月は「さつき」**：まだ文字が無かった古代日本で、「さ」という音は「田んぼや稲の神」を表していたのだそうです。この頃は田植えの時期であることから「さつき」と呼ばれるようになりました。『となりのトトロ』でも、おばあちゃん達は田植えをしていましたよね。

**6月は「みなづき」**：「水の月」という意味。梅雨の季節ですね。

**7月は「ふみづき」**：漢字にすると「文月」。七夕の夜に「書」（筆で文字を書くこと）の上達を祈る風習があったことから。

**8月は「はづき」**：「紅葉が進んで葉が落ちる月」という意味で、秋を表す言葉です。和風月名は旧暦のものであるため、現行の新暦に適用すると季節感が少々ずれるのです。

**9月は「ながつき」**：夜が長くなってくる月。

**10月は「かんなづき」**：「神の月」という

意味。全国の八百万（やおよろず）の神が大集合する月なのだから。ちなみに集合場所は出雲地方です。

**11月は「しもつき」**：霜が降りる月。

**12月は「しわす」**：漢字にすると「師走」。「師」は一般に師匠、つまりマエストロのことを言いますが、ここではお坊さんのことです。かつては12月になるとお坊さんが檀家を回ってお経をあげていました。そこで、「お坊さんが走る」と書いて、「お坊さんが走り回るほど忙しい」という意味になります。この言葉は慌ただしいう年末を表す言い方として現在もよく使われます。

Che bel Paese il Giappone!

## La bellezza dei nomi tradizionali dei mesi giapponesi

**M**olti di voi avranno sicuramente visto “Il mio vicino Totoro”, film d’animazione diretto da Hayao Miyazaki, ambientato tra il verde fresco di inizio estate. Le protagoniste sono due sorelle piene di energia: la maggiore, Satsuki, e la più piccola, Mei.

Ora, una domanda per voi, studenti giapponesi cresciuti in Italia e studenti italiani che stanno imparando il giapponese: il nome della piccola Mei deriva dal termine inglese *May* (maggio), ma sapreste dirmi da dove proviene il nome della sorella maggiore?

Forse non tutti lo sanno, ma i *kanji* che indicano il mese di maggio – oltre alla comune lettura *gogatsu* – possono essere letti anche come “satsuki”, come proprio il nome tradizionale giapponese del mese di maggio! Questo antico sistema, noto come *wafū getsumei* (lett. “nome dei mesi in stile giapponese”), assegna a ogni mese un nome che evoca il clima, le usanze e il senso di stagionalità di quel periodo dell’anno.

Oggi, nel giapponese moderno, i mesi sono indicati semplicemente con un numero seguito dal suffisso *gatsu* (“mese”): così, gennaio è *ichigatsu* (“primo mese”), febbraio è *nigatsu* (“secondo mese”), e così via. Tuttavia, ciascun mese conserva anche un nome tradizionale elegante e poetico. Vediamoli insieme:

**Gennaio – Mutsuki, il mese dell’affetto e dell’armonia familiare**

Gennaio è il mese in cui si celebra il Capodanno, quando le famiglie si riuniscono per trascorrere del tempo insieme in allegria

e armonia. Il nome *Mutsuki* deriva infatti dal termine giapponese *mutsumajii*, che significa “affetto, armonia familiare”, seguito da *tsuki*, “mese”.

**Febbraio – Kisaragi, il mese del vestirsi a strati**

Febbraio, con il suo clima freddo e pungente, è il mese in cui bisogna indossare numerosi strati di vestiti. Il nome deriva da *kinu* (“abiti”) e *sara ni kiru* (“indossare ancora”).

**Marzo – Yayoi, il mese della crescita rigogliosa e progressiva della vegetazione**

Marzo è un mese vivace, in cui fiori e piante competono per essere i primi a germogliare. Il primo dei due *kanji* che compongono il nome *Yayoi* significa appunto “avanzare e svilupparsi con intensità crescente” (il secondo *kanji*, invece, può essere tradotto come “vita” o “nascita”, n.d.t.).

**Aprile – Uzuki, il mese della natura lussureggiante**

Aprile è il mese in cui la natura si fa rigogliosa e lussureggiante, con le chiome degli alberi completamente coperte di foglie. È infatti questo il significato del primo *kanji* del nome *Uzuki* (il secondo carattere, invece, è ancora una volta quello di *tsuki*, “mese”, n.d.t.).

**Maggio – Satsuki, il mese della semina del riso**

Sin dall’antichità, quando la scrittura non si era ancora diffusa in Giappone, il suono “sa” indicava la divinità del riso e delle risaie. Il mese di maggio è il periodo della semina del riso, da cui il nome *Satsuki* (da *sa*, “riso” + *tsuki*, “mese”, n.d.t.). Se ricordate, anche nel film “Il mio vicino Totoro”, le nonnine del villaggio erano intente proprio a piantare il riso!

**Giugno – Minazuki, il mese dell’acqua**

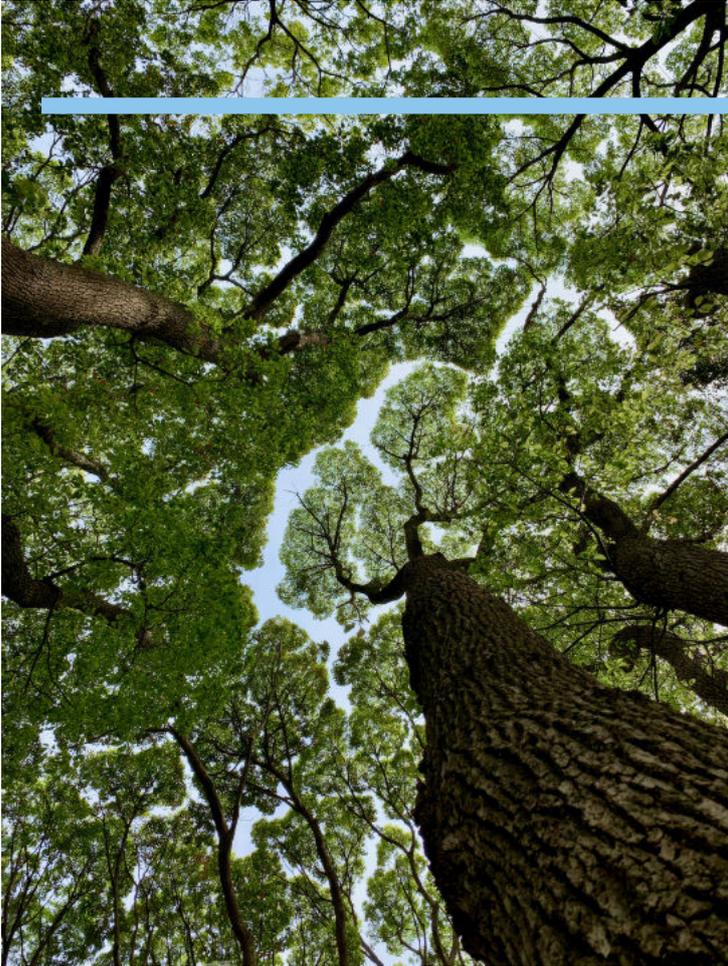
Giugno, caratterizzato dalla stagione delle piogge, è noto come “il mese dell’acqua” (da *mizu*, “acqua” + *tsuki*, “mese”; in questo caso, il *kanji* centrale ha solo valore fonetico, n.d.t.).

**Luglio – Fumizuki, il mese della cultura e della scrittura**

Luglio è il mese in cui si celebra il *Tanabata* (la festa delle stelle innamorate, celebrata la settima notte del settimo mese, durante la quale si scrivono i propri desideri sui *tanzaku*, strisce di carta appese ai rami di bambù, n.d.t.). Era usanza pregare per migliorare la propria abilità calligrafica con il pennello, da cui il nome *Fumizuki*, letteralmente “mese della scrittura” (da *fumi*, “scrittura” + *tsuki*, “mese”, n.d.t.).

**Agosto – Hazuki, il mese delle foglie**

Il nome tradizionale di agosto significa “il



## 樹冠の遠慮

八幡宮がある神奈川県平塚市の八幡山公園に来ると、私は必ず上を見上げ、梢が織り成すこの模様を眺めます。お社の後ろに高々と伸びているクスノキを下から見ると、樹木と樹木の間隙間がこのように美しい模様を作っているのです。これは、木々の樹冠が互いに接触せずに伸びていっていることによる、「Crown Shyness」（樹冠の遠慮）と呼ばれる現象なのだそうです。

いったい何故、このようなことが起こるのでしょう？森林などで木々が密集すると、それぞれの木の成長を妨げるような様

々な問題が出てきます。例えば日の光も下の方まで届かなくなったりと…。そこで木々は互いの樹冠が重なり合わない様になしながら成長していくことで、共存を可能にしているらしいのです。

クラウン・シャイネス現象を説明する仮説はいくつかあり、完全な解明はまだできていないようですが、他人の領域を侵さないようにして共存しようとする彼らが人間より賢いことは、確かですね！

## La timidezza della corona

Ogni volta che visito il parco Hachiman-yama di Hiratsuka, cittadina della prefettura di Kanagawa, dove sorge il santuario Hachimangū, alzo sempre lo sguardo per ammirare il disegno creato dalle cime degli alberi. Osservando dal basso i maestosi alberi di canfora che sveltano dietro al santuario, si può notare come gli spazi vuoti tra le fronde vadano a comporre questo splendido motivo. Questo fenomeno, in cui le chiome degli alberi crescono senza mai toccarsi, è conosciuto come “Crown Shyness”, la “timidezza della corona”.

Ma perché mai accade una cosa simile? Quando gli alberi crescono fitti l'uno accanto all'altro, come avviene nei boschi, possono emergere vari problemi che ostacolano il loro sviluppo: ad esempio, la luce solare potrebbe non riuscire a raggiungere i livelli più bassi del sottobosco. Per questo motivo, si ritiene che gli alberi crescano evitando di sovrapporsi l'uno all'altro, trovando un equilibrio che consente loro di convivere.

Sono state avanzate diverse ipotesi per spiegare il fenomeno della Crown Shyness, ma ad oggi il mistero non è stato ancora del tutto svelato. Una cosa, però, è certa: questi alberi, capaci di coesistere senza invadere lo spazio altrui, dimostrano una saggezza ben superiore a quella degli esseri umani!

Foto: Linus Hori

Traduzione in italiano: Emanuela L. Arancio



in cui le foglie iniziano a tingersi di rosso e a cadere” (da *ha*, “foglie” e *tsuki*, “mese”, n.d.t.): un termine che evoca l'autunno. A tal proposito, occorre ricordare che i nomi tradizionali dei mesi giapponesi sono basati sull'antico calendario lunare: per questo motivo, applicandoli al calendario moderno, il senso delle stagioni risulta leggermente sfalsato.

### Settembre – Nagatsuki, il mese lungo

Settembre è il mese in cui le notti si fanno via più lunghe (da *nagai*, “lungo” + *tsuki*, “mese”, n.d.t.).

### Ottobre – Kannazuki, il mese delle divinità

Ottobre è noto come “il mese delle divinità” (da *kami*, “divinità” + *tsuki*, “mese”; in questo caso, il *kanji* centrale *na* ha solo valore fonetico, n.d.t.): si dice che in questo periodo tutte le innumerevoli divinità del Giappone si riuniscano nella regione di Izumo.

### Novembre – Shimotsuki, il mese del gelo

Novembre è il mese in cui il paesaggio si copre di brina ghiacciata (da *shimo*, “gelo, brina” + *tsuki*, “mese”, n.d.t.).

### Dicembre – Shiwasu, il mese in cui i monaci corrono

Il nome tradizionale del mese di dicembre è

scritto con i *kanji* di “monaco” (il carattere *shi*, in questo caso, non è usato nella sua accezione più comune di “maestro”, bensì in quella di “monaco buddista”) e di “correre”. In passato, nel mese di dicembre i monaci si recavano di casa in casa per recitare i *sutra* (preghiere buddiste, n.d.t.): da qui, l'immagine di un mese tanto frenetico da “far correre i monaci”, espressione usata ancora oggi per descrivere la frenesia di fine anno.

Junko Kataoka

Traduzione in italiano: Emanuela L. Arancio

カトリックあれこれ

## ジュビレオって、 なんででしょう？

2025年はカトリック信者にとっては正に待ち望んだ年、「聖なる年」です。イタリア語では「Giubileo」（ジュビレオ=聖年）と言います。「聖年」とはキリスト教の中でもカトリック教会における概念で、「Porta Santa」（聖なる扉）が開けられ、「その扉を通ることで罪が許される」（全免償）という有難い年なのです。

西暦1300年に聖年開催が決められた時は100年毎のイベントのはずだったのですが、結局50年後の1350年にも行われ、そのあとイエス様の33年間の生涯にちなんで33年毎とされ、そして結局、1400年代に25年毎になって現在まで続いています。より多くの信者に赦しが与えられるようにという考えからのようです。間隔が長いと、信者が一生のうちに聖年を迎えられない可能性が高くなりますものね。

カトリック信仰の中心地であるバチカンのサン・ピエトロ大聖堂への入り口は5つありますが、一番右側の扉が「Porta Santa」です。日頃は閉じられているのですが、聖年の間だけ開かれます。



煉獄の入り口。1861年版の『神曲』の挿絵。ギュスターヴ・ドレ（1832~83）による。/Illustrazione di Gustave Doré per il Purgatorio di Dante.

ところでイタリアにお住まいの方は、「あれ？フランシスコ教皇になってから既に一度ジュビレオがあったような気がする」と不思議に思われたことでしょうか。確かにその通りです！第2バチカン公会議終了50周年（下記註①）を記念して、2015年に「Giubileo straordinario」（特別聖年）が行われました。特別聖年とは、25年ごとの通常聖年（Giubileo universale）とは別に、特別に重要な記念がある場合に限り、教皇の判断でその開催が決められるものです。フランシスコ教皇による2015年の特別聖年は「Misericordia」（慈しみ）がテーマでしたが、今年2025年の通常聖年は「Speranza」（希望）がテーマです。近年、世界はたいへん困難な状況が続いているので、「希望の聖年」は現在の私たちに一番必要な、神様の大きな恵みであると感じます。

さて、聖年に巡礼者が受けられる「全免償」（Indulgenza Plenaria）とは、いったい何でしょうか？簡単に一言で言うと、「カトリック教会において、教会が認める行いを果たすことで“罪の償い”が全面的に免除される」ことです。以下、詳しく説明していきます。

カトリック信者は、「Confessione」（赦しの秘跡）をすれば罪は許され、神様との交わりを回復することができます。しかし、罪を犯したことで齎（もたら）される“罪を償う苦しみ”という“有限の罰”（下記註②）は残ります。つまり

「Purgatorio」（煉獄。れんごく）での日々を過ごすことになるのです。煉獄は、生涯に犯した大小の罪を聖なる火によって浄化するところですから、そこでの日々は苦しみを伴います。これを軽減してくれるのが「免償」なのです。ですがもちろん、例えば観光客などが、ただ「Porta Santa」を通っただけで罰が軽減されるというわけではありません。

聖年に「全免償」をいただくためには、「聖なる扉」を通る数日前までに「部分免償」を行っておく必要があります。まず第一に「赦しの秘跡」（罪を告白して赦しを願うことで神からの赦しを得ること）に与（あ）ずか（ず）ること。そして、「Adorazione」（聖体訪問=キリストに向き合い、キリストとの交わりを深めること）や「聖体拝領」（キリストの体と血を表すパンとぶどう酒を信者がいただくこと）などに加えて、教皇が指定している祈りを唱えるなど、諸々の準備をします（かなり多いです）。その後で聖なる扉を通った結果、初めて全免償が受けられるのです。



2024年12月25日、聖なる扉を開けるフランシスコ教皇（Skyのテレビ中継より）。/Papa Francesco apre la Porta Santa il 25 dicembre 2024 (dalla trasmissione di Sky TV).

聖なる扉はサン・ピエトロ寺院だけではなく、教皇から「Chiesa Giubilare」（ジュビリー教会）に指定された教会にもあります。サン・ピエトロの聖なる扉がまず最初に開かれた後、各地のジュビリー教会でも聖なる扉が開けられるのです（ただし、2015年の特別聖年の時にはフランシスコ教皇は最初に中央アフリカのPorta Santaを開けました）。

Chiesa Giubilareでは聖年の期間中、サン・ピエトロ寺院のものと同じ全免償を受けることができます。有難いことにトスカナ州の私たちの住む町にも、聖なる扉のある教会があります。だから全免償のお恵みをいただくのは簡単はずなのですが…。かつて私に洗礼を授けてくださったドイツ人の神父様から「クリスチャンになるのは簡単だけど、良いクリスチャンであるのは非常に難しい」と言われたとおりだなあと、痛感しています。

Takako Magrini

※なお、この記事を作成中の2025年4月21日、復活祭の翌日にフランシスコ教皇が亡くなりました。亡くなる前日まで公務に就き、最後まで人々に寄り添い、人々に愛された偉大な教皇でした。バチカンはこれよりコンクラーベの期間に入ります。

註①：第2バチカン公会議は1962年10月11日から1965年12月8日まで開催され、「教会の現代化」をテーマに多くの議論が行われ、現代のカトリック教会の方向性を定めた公会議として知られている。

註②：罪の結果として罰が与えられる。だが償いをする事で「人は罰から解放される」という考えから「有限の罰」と表現される。

# 日本人にとってのExpo 2025

2025年4月13日、大阪・関西万博が開幕した。新しく作られた人工島「夢洲」(ゆめしま)で10月13日まで開催される。だが、今回の万国博覧会は開催決定当初から、日本国民(特に関西地方の住民)に期待と懐疑や懸念の複雑に絡み合った感情を抱かせていた。当万博を日本人がどのように捉えているかを理解するためには、様々な側面から検証する必要がある。

## 国民の関心度

万博開幕日が近づいているにもかかわらず、国民の熱意は1970年の大阪万博の時の熱狂に比べると極端に低いようだった。70年の万博は戦後日本の経済復興と世界への返り咲きの象徴として、多くの高齢者が今なお懐かしんでいる。

この1年、万博への国民の関心を把握するために何度か調査が行われたが、いずれも芳しくない結果が報告されている。大阪府と大阪市が2024年12月に行った調査では、万博に行きたいと答えた人はわずか34.9%だった(その中では関西人の関心度が高く、関西から遠く離れるにつれて低下している)。2025年2月に毎日新聞が実施した調査でも、やはり日本人の3人に2人が来場するつもりはないと答えている。

2025年2月初旬の時点で前売り券の販売数は840万枚で、予想されていた1500万枚を大幅に下回っていた。しかも、そのほとんどが企業や団体の購買によるものであり、一般個人の大きな需要が無いことを示している。主催者は6か月の開催期間中に2820万人の来場を目指しており、うち約2470万人が日本人としている。だが事前販売数を見る限りでは目標達成は不可能と思われる。参考までに、世界で3番目に訪問者が多いとされるテーマパーク「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン」の年間来場者数は約1400万人だという。

## 浮き彫りになっている問題点

国民に熱意を持ってもらえない理由となる要因はいくつもある。まず何と云っても、明確な「概念実証」(コンセプトが実際に機能するか検証すること)に欠けているのだ。「いのち輝く未来社会のデザイン」という万博のテーマは漠然としており、これでは具体的にどんな体験ができ、どんなメリットがあるかを一般の人が理解しにくいと専門家は指摘している。

例えば2015年ミラノ万博のテーマは「地球に食料を、生命にエネルギーを」であり、安全な食料、生物多様性、食品サブ



イチェーン(農林水産物生産に始まり、加工されて消費者に届けられ、最終的に廃棄されるまでの全プロセス)の技術開発に焦点を当てた一連のサブテーマがあった。今回の大阪万博のサブテーマは「命を守る」「命をつなぐ」「命に力を与える」といった感じで、あらゆる意味を持ち、同時に何も意味しない「詩的な」スローガンだ。実用性とスローガンの乖離(かいり)は日本ではよく見られると言わざるを得ない。企業のキャッチフレーズや企業理念から広告やマーケティングに至るまで…。

次に、参加を迷っていた国が当初多かったために準備や建設が遅れ、来場予定者の間に不安が広がった。開幕までにパビリオンや施設が完全に整うのか、わざわざ行っても大したことはないんじゃないかと。実際、開幕1ヶ月前の2025年3月の時点で外装が完成していたパビリオンは僅か20%だった。更にはオンラインチケット販売のシステムの複雑さにも不満の声が上がった。混乱して購入を諦めた人もいることだろう。

また、経済的懸念という真摯な理由から国民が万博を両手を広げて歓迎していないことも、チケット販売にブレーキをかけた。多くの日本人(特に大阪の人々)は日本の経済的課題と高齢者の増加を鑑(かんが)み、もしも万博が意図する目標を達成できなかった場合、「その経済的負担が自分たちに来るのではないかと」恐れている。2020年オリンピックにおける財政破綻

以来、日本国民の警戒心が強くなっている上に、実際、今回の万博にかかっている費用は既に予算を大きく上回っているからだ。

このように弱いスタートであったにもかかわらず、主催者側のコメントは「メディアの報道が増え、ソーシャルでは好意的な意見が見られるようになるだろうから、開幕日が近づくと関心が高まると楽観視している」「最後の何週間かで来場予定者数が急増している」といったものだった。そして、「今までのエキスポでは最終日が近づくとつれて来場者数が急激に増えていった」ことをも引き合いに出した。

それでも、とにかく危機感は拭えない。大阪府の吉村知事は開幕前に石破首相を訪問し、万博の推進に向けた政府の一層の努力と協力を要請した。

## コインの裏側

もちろん万博がもたらすプラスの影響もある。何より、大阪の重要なインフラ開発のきっかけとなった。万博会場のある夢洲への地下鉄延長、新しい道路設置、公共サービスの強化は住民に恒久的な利益をもたらす。同地域と大阪市内との接続が良くなるし、夢洲駅タワービルの計画や大阪湾岸地域の他の開発も長期的な資産と考えられる。

万博の開催により大阪の地位は世界的に高まり、先進的で国際的に活動する都市としてのイメージを強化するだろう。将来的に商業投資や人材、観光産業を誘致し、大阪を東京と共に重要な国際拠点として位置づけることができるだろう。今回の万博では「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマと日本の国家戦略「ソサエティ5.0」(政府が提唱する未来社会のコンセプト)に沿って、日本企業が最先端の革新的技術を紹介できるような万博特設サイトを開設している。これにより技術革新、新しいネットワークの構築が推進され、ひいては世界的な課題の解決に役立つだろう。

そして、同博覧会は日本人たちにとって、国外に出ることなく世界中の人々や文化と交流するチャンスとなる。それは国際

▼ 社会の理解、文化的なものの鑑賞などの、またとない機会にもなるだろう。

**結論**

実は、こういった大きなイベントの日本国民の捉え方は、数十年で大きく変化しているのだ。そして二極化が非常に進んでいる。今回の大阪万博の場合、経済的利益、都市開発、都市の国際的な知名度向上を期待する人がいる一方で、多くの人々が財政的負担など被るかもしれない災難を憂え、わざわざ会場へ足を運ぶための「説得力ある理由」が無いとしている。

1970年の万博の大成功との比較もやはり苦しい。開催日が近づくにつれ、「国民の熱意を高める」という課題に四苦八苦の様子だったが、成功は、全体的なオーガナイズと社会・文化面の両方において「来場者にどういった体験をさせられるか」にかかっているだろう。



**Un italiano residente a Tokyo  
Osaka Expo 2025 vista dai  
residenti in Giappone**

L'Esposizione Universale del 2025, che ha aperto i battenti sull'isola artificiale di Yumeshima a Osaka il 13 aprile e che sarà tenuto fino al 13 ottobre 2025, ha generato un complesso mix di attesa, scetticismo e preoccupazioni tra i residenti in Giappone, in particolare quelli della regione del Kansai. Per comprendere queste percezioni è necessario approfondire vari aspetti, tra cui i livelli di consapevolezza e di interesse, i benefici e gli svantaggi percepiti, e il confronto con gli Expo passati.

**Livello di interesse**

All'avvicinarsi della data di apertura, l'entusiasmo del pubblico per l'Expo 2025 sembrava essere notevolmente inferiore rispetto al fervore per l'Expo di Osaka del

1970, che porta alla mente ricordi nostalgici nei cuori di molti residenti anziani come simbolo della rinascita economica del Giappone nel dopoguerra e del suo riemergere a livello globale.

Nel corso dell'ultimo anno sono stati effettuati diversi sondaggi per monitorare l'interesse del pubblico, e tutti hanno riportato tiepidi risultati. Un sondaggio condotto nel dicembre 2024 dai governi della prefettura e della città di Osaka ha mostrato che solo il 34,9% degli intervistati ha espresso il desiderio di partecipare (l'interesse era notevolmente più alto nella regione del Kansai, ma diminuiva con l'aumentare della distanza). Un altro sondaggio del febbraio 2025 del quotidiano Mainichi Shinbun ha rivelato che due giapponesi su tre non avevano intenzione di visitare l'Expo.

Infatti, agli inizi di febbraio 2025, erano stati venduti solo 8,4 milioni di biglietti in prevendita, una cifra notevolmente inferiore ai 15 milioni previsti. Gran parte di queste vendite erano destinate a società e organizzazioni, il che suggerisce la mancanza di una forte domanda da parte del pubblico.

Gli organizzatori puntano a 28,2 milioni di visitatori durante i sei mesi dell'evento, di cui circa 24,7 milioni dovrebbero essere cittadini giapponesi. Per fare un paragone, l'Universal Studio Japan, il terzo parco più visitato al mondo, accoglie circa 14 milioni di visitatori all'anno: visto l'attuale numero di prevendite, l'obiettivo di Osaka Expo sembra ormai impossibile da raggiungere.

**Problemi percepiti**

Diversi fattori contribuiscono a questa apparente diffusa carenza di entusiasmo.

Il primo è la mancanza di una chiara "prova di concetto": alcuni esperti suggeriscono che il tema generale dell'Expo, "Progettare la società futura per la nostra vita", sia piuttosto amorfo, rendendo difficile per il pubblico cogliere le esperienze e i benefici tangibili della partecipazione.

Il tema dell'Expo Milano 2015 era "Nutrire il pianeta, energia per la vita", con una serie di sotto-temi incentrati su sicurezza alimentare, biodiversità, sviluppo tecnologici della filiera alimentare. Osaka Expo invece ha dei sotto-temi identificati da slogan "poetici" che però significano tutto e niente, come "Proteggere le vite", "Connettere le vite" e "Dare potere alle vite".

Devo ammettere che questa disconnessione tra praticità e slogan si vede spesso in

Giappone, dalle tag-line/company mission delle aziende, alle iniziative pubblicitarie e di marketing.

Come seconda cosa, ci sono stati diversi paesi che hanno tentennato sulla decisione di partecipare o meno. Questo ha contribuito a ritardi nella costruzione e preparazioni, con un conseguente aumento di preoccupazione tra i potenziali visitatori.

I ritardi nella costruzione dei padiglioni e delle infrastrutture hanno suscitato tensioni circa la possibilità che il sito sia completamente pronto per la data di apertura e preoccupazioni per un'esperienza di visita non ottimale. Per citare un dato, a marzo 2025, cioè ad un mese dalla data di apertura dell'Expo, solo il 20% dei padiglioni aveva completato i rivestimenti esterni.

Inoltre, ci sono state anche lamentele sulla complessità del sistema di biglietteria online: questo, insieme alla confusione sulla necessità o meno di acquistare biglietti con una data predefinita, ha fatto sì che il numero di prevendite fosse parecchio sotto gli obiettivi prefissati.

Ancora, il basso numero di biglietti venduti si lega a legittime preoccupazioni economiche. Tanti residenti, in particolare a Osaka, hanno espresso preoccupazioni circa l'onere finanziario dell'Expo sui contribuenti se l'evento non dovesse raggiungere gli obiettivi commerciali prefissati, soprattutto alla luce delle sfide economiche del Giappone e dell'invecchiamento della popolazione. Dopo la *debacle* finanziaria delle Olimpiadi, c'è una forte sensibilità su questo aspetto. I costi dell'Expo sono aumentati ben oltre il budget iniziale previsto, aumentando la tensione tra i contribuenti.

Nonostante l'inizio fiacco della vendita dei biglietti e dell'entusiasmo del pubblico, gli organizzatori si sono detti ottimisti sul fatto che l'interesse sarebbe cresciuto con l'avvicinarsi della data di apertura, grazie all'aumento della copertura mediatica e alle esperienze positive di passaparola condivise sui social media. Gli organizzatori hanno fatto riferimento anche alla tendenza storica che vede gli Expo registrare



**社員募集。レストラン大阪 ホールとキッチン  
スタッフ募集。パートタイム可。新店舗に  
移転予定です。職場は地下鉄LANZAから2  
分。ご連絡お待ちしております。**

**Ristorante Osaka cerca nuovi professionisti  
Cerchiamo persone volenterose per la sala e  
la cucina. Full time e part time. Il ristorante  
si trasferirà in una nuova sede vicina alla  
metro di Lanza. Contattateci.  
ristoranteosaka.milano@gmail.com/  
Claudio +39 340 8330638**

**静かで緑多く明るい75mqアパート貸します。  
リビングキッチン、バス洗面所、寝室/書  
斎、窓付き半地下と明るい庭付き、玄関には  
靴収納有り。家具付きで便利な環境。M4 San  
Cristoforo 駅徒歩3分。+39-338-5697105 /  
stellars@alice.it**



**STUDIO LINGUISTICO SOE  
di Masatake Soejima**

www.studiolinguisticosoe.it

**ビジネス文書翻訳 (伊英日) / 裁判所宣誓翻訳  
(伊英・伊日) / 輸出入ご商談のお手伝い。  
イタリアの高校から外国の大学へ進学する際  
に必要なイタリア語の卒業証書や成績表等の  
宣誓翻訳証明書は私どもにお任せください。**

**Tempurateca cerca nuovi professionisti  
店員募集。ホールとキッチンスタッフ募集。  
やる気と情熱を持って取り組める方、プロフ  
ェッショナルでダイナミックなチームに入って  
くださる方、ご連絡お待ちしております。  
info@tempurateca.com / +39 334 9939324**



**全国すし商生活衛生同業組合  
連合会加盟店  
Membro della Federazione  
Nazionale delle  
Associazioni per l'Igiene  
del Settore Sushi**

**トリノ中心部の日本惣菜食品店舗居抜き物  
件。厨房設備付。固定客多。価格応相談。お  
問合せは下記Tel迄。Cedesì attività di  
gastronomia e alimentari giapponesi con  
cucina attrezzata situata in centro a Torino da  
14anni con clientela consolidata. Trattativa  
riservata. Chiamare se interessati ☎ 0114338748  
mar-sab 11.30-14.30/17.30-21.00 escluso festivi**

**チャオ誌面とHPに告知掲載 /  
Pubblica il tuo annuncio sulla  
versione cartacea e sul sito di Ciao:**  
1コマ25ユーロ (20字×5行、英数半角は  
2文字で1字) / una casella: 25euro (40  
battute per 5righe)

**CiaoのFbやインスタ上での告知 /  
Annunci su Facebook e Instagram di  
Ciao: Ciaoの告知として2回掲載で25ユー  
ロ (100字、英数半角は2文字で1字、写  
真1つ) / L'annuncio verrà pubblicato 2  
volte sui social di Ciao: 25euro (200  
battute, foto)**

詳細とお申込み / Per info scrivere a  
ciao@ciaojournal.com

**CIAO! のHPを  
リニューアルしました!  
È online il nuovo sito di Ciao  
www.ciaojournal.com**

イタリアに少しでも興味をお持ちの方は、お気軽にご入会ください

**神戸日伊協会**

ASSOCIAZIONE ITALO-GIAPPONESE DI KOBE  
日伊両国間の、民間レベルでの相互理解、友好親善を深め、  
あわせて会員間の親睦をはかります。

■神戸日伊協会・年会費

|         |                 |
|---------|-----------------|
| 個人会員お一人 | 5,000円          |
| *ベア会員   | 8,000円          |
| 法人会員一口  | 30,000円<いずれも税込> |

\*ベア会員=ご夫婦、親子など、会報等の送付先、その他連絡先が  
同一の方

〒651-0096 神戸市中央区雲井通7-1-1「ミント神戸」17階  
神戸新聞文化センター (KCC内)

**神戸日伊協会**  
TEL. 078 (265) 1100 FAX. 078 (265) 1105

**La lettera dai lettori**



**イタリア館、お勧めです!**

大阪・関西万博に行ってきた。イタリア館のイタリアらしさは随所に表れていた。まず、他国のパビリオンは、開幕前日に行われた開幕式(4月12日)の時にはちゃんと開いていたが、イタリア館がオープンしたのはそのセレモニー終了後の18時。つまり開幕前の本当のギリギリ。イタリアらしいよなあ。

僕は偶然、開幕前日のこの日、20時過ぎにラッキーにもイタリア館に入ることができた。脚立が入口近くの丸見えのところ普通に置いてあった。イタリアらしいよなあ。日本人なら大慌てで隠ささうなあ。

中に入ってみたら、まずは映像が始まった。3分弱の映像の後、観客は画面の中に入って奥へと移動するという粋なもの。壮大なプロペラ機の展示があり、カラヴァッジョの絵があり、ヴェネツィア関連の展示があり、イタリアを代表する工業製品の展示があり…。展示品のどれもレプリカではなく実物であることがSNS上でも話題になっており、「イタリアの懐の深さか」と皆ウワサしている。だが僕は「俺たちさ、世界遺産も文化的なものもたくさん持ってるし、ホンモノ持っていくの別に構わないけど?」という余裕を感じる。イタリアらしいよなあ。

スケールの大きさやだらかさ、正にイタリアらしさを感じることでできるパビリオンである。テーマは「L'Arte Rigenera la Vita」(芸術が生命を再生する)。イタリア館、お勧めです!

Masaki Ikeda



**CIAO! Journal年間定期購読 / CIAO! Journal Abbonamento annuale**

●印刷版…22ユーロ (イタリアのご住所のみ)の「お振り込みデータ」「ご氏名」「ご住所」をciao@ciaojournal.comまでお送り下さい。  
Geienneffe Editore S.a.s.  
IBAN: IT13M0623001602000057063791

※PayPalでお支払いの方はwww.ciaojournal.com→「定期購読」をご覧ください。

●Abbonamento annuale CIAO! Journal in versione cartacea…22euro (l'abbonamento è rivolto esclusivamente ai residenti in Italia) Dopo aver fatto il bonifico, invia la ricevuta del pagamento all'indirizzo ciao@ciaojournal.com

con il nome e l'indirizzo su cui desideri ricevere Ciao! Journal.  
- Fai il bonifico al seguente IBAN:  
Geienneffe Editore S.a.s.  
IBAN: IT13M0623001602000057063791

●WEB版…無料。ご希望の方はciao@ciaojournal.comまでお申し込みください。また、お友達にご自由に転送なさってください。

●Versione Web di CIAO! Journal…GRATIS. Se desideri ricevere la versione Web della rivista, scrivi all'indirizzo ciao@ciaojournal.com indicando: nome, cognome e l'indirizzo mail su cui vuoi ricevere la rivista. Ciao! Journal può essere condiviso liberamente con tutti!

NEW PACKAGE

ゆめにしき

欧州産新こしひかり

アルプスの豊富な  
雪解け水が流れ込んだ  
イタリアの肥沃な大地で  
選りすぐりの契約農家が  
丹精込めて育てたお米が  
今年も届きました。  
田んぼから精米まで  
日本の技術者に指導を受けた  
旨みあふれる極上のお米を  
お試しください。



un'impennata di presenze nelle ultime settimane. C'è comunque un innegabile sentimento di crisi che si sta facendo strada. Il governatore di Osaka, Hirofumi Yoshimura, una delle figure chiave nell'organizzazione dell'Expo, ha fatto visita al Primo Ministro Ishiba per chiedere un maggior sforzo e una maggior cooperazione da parte del governo per promuovere l'evento.

### L'altra faccia della medaglia

Ovviamente ci sono anche degli impatti positivi derivanti dall'Expo. L'Expo ha fatto da catalizzatore per un significativo sviluppo delle infrastrutture a Osaka, in particolare a Yumeshima. L'estensione della linea della metropolitana all'isola, le nuove strade e i potenziamenti dei servizi pubblici offriranno benefici duraturi ai residenti e miglioreranno la connettività all'interno della città. Anche il progetto della torre di Yumeshima e gli altri sviluppi nell'area della baia sono considerati benefici a lungo termine. Ospitare un'Esposizione Universale eleva la

posizione globale di Osaka e ne migliora l'immagine di città lungimirante e impegnata a livello internazionale. Questo può attrarre futuri investimenti commerciali, talenti e turismo, posizionando Osaka come un hub internazionale più importante insieme a Tokyo.

L'Expo inoltre offre alle aziende giapponesi una piattaforma per presentare tecnologie e innovazioni all'avanguardia, in particolare in linea con il tema "Designing Future Society for Our Lives" (Progettare la società futura per la nostra vita) e con la strategia nazionale giapponese "Society 5.0". Ciò può favorire l'innovazione, creare nuove reti e contribuire a risolvere le sfide globali.

Dal punto di vista degli scambi culturali e comprensione internazionale, l'Expo offre un'opportunità unica ai residenti giapponesi di interagire con persone e culture di tutto il mondo senza dover viaggiare all'estero. Ciò può favorire una maggiore inclusione internazionale, un apprezzamento culturale e una crescita personale.

### Conclusione

La percezione popolare di questi grandi eventi è cambiata notevolmente nelle ultime decadi, diventando molto più polarizzata. Nel caso dell'Expo di Osaka, mentre alcuni prevedono benefici economici, sviluppo urbano e un maggiore profilo internazionale per la città, molti altri esprimono preoccupazione per l'onere finanziario, i potenziali disagi e la mancanza di motivi convincenti per partecipare.

L'Expo 2025 soffre anche il paragone con il grande successo dell'Expo del 1970, e gli organizzatori hanno dovuto affrontare la sfida di costruire l'entusiasmo del pubblico man mano che si avvicinava la data di apertura. Il successo dipenderà dal tipo di esperienza che l'Expo riuscirà a dare ai visitatori, sia in termine di organizzazione che di impatto socio-culturale.

Federico Bianchi

Traduzione in giapponese: Junko Kataoka